

教育民生常任委員会
所管事務調査を実施

調査日 7月11日(月)

調査内容

- ①小川図書館移転改修状況について
- ②瓦れき処理の状況(小川総合福祉センター・旧馬頭東中学校)について
- ③小川総合福祉センター(まほろばの湯)の管理状況について
- ④馬頭東小学校屋内体育館耐震補強工事及び大規模改修工事の状況について
- ⑤馬頭中央保育園の管理運営状況について
- ⑥ひばり幼稚園の管理運営状況について
- ⑦馬頭小学校の被災状況について
- ⑧馬頭放課後児童クラブの管理運営状況について

調査意見等

①小川図書館の改修にあたっては、安らぎの場の確保と使いやすい学習機の配置などに配慮されたい。

②大谷石等の瓦れきについては、ケーブルテレビなどを通じて再利用を調査し、再利用が図られる

よう検討されたい。
③小川総合福祉センターの犬走りの早期修復を進められたい。また、まほろ場のリニューアルオープンのPRに努められたい。
④木材等の処分は㈱トーセン社と協議して有効活用を図るとともにコスト削減に努められたい。
⑤保育園及び幼稚園設置は、幼保一貫の教育のため、子ども園構想の策定に着手されたい。
⑥保育士の配置は、国の基準を満たしているが、特別支援児に対する保育士の増員を図られたい。
⑦暫定的に移設されている馬頭放課後児童クラブの安全管理に配慮されたい。



教育民生所管事務調査を実施(小川健康管理センターの調査)

全国町村議会広報研修会報告

町民視点での広報紙作成に向けて

議会広報特別委員会 副委員長 鈴木雅仁

7月28日(土)29日(日)の2日間、東京千代田区の砂防会館にて「第74回全国町村議会広報研修会」が開催され、議会広報特別委員会(5名)で参加しました。この研修会には、全国の町村議会から総勢480名に及ぶ参加があり、議会広報に対する意識の高さを感じました。

議会だよりというものは、一般的に発信力を高める工夫が不足しています。読者にとつての「身近さ+わかりやすさ」を追求し、「議会の活力」にも繋げる取組みが必要であることを再認識しました。

そして、著作権に関する講義では、広報紙に写真等を載せる場合の「著作権・肖像権」についてなど、見落としがちな注意点についての指導を受けました。

講習2日目には、希望をする参加町村の広報紙のクリニックスが行われました。当委員会では、昨年このクリニックスを受講し様々な指摘を受け、この1

年間で改善の努力をして参りましたが、その内容も含めて、他町村の指摘事項と重ね合わせながらの受講となり



研修会を受講する委員



全国から480人が研修に参加

ました。このクリニックスでは、広報活動は一方通行ではないということ、住民の要望に応える広報が必要であることなど、様々な指摘がされました。また、広報紙は外部に発信するものであるから、公文書的な表記は極力さけることといった指摘もありました。当町議会の広報紙にも当てはまる事が多く、改めて広報紙発行の難しさを痛感致しました。
今回の研修を受講して、いづれの講義も、町民の立場に立ち、町民の視点で広報の編集にあたる事が、最も肝要である事を再認識させられました。今回の講習で学んだことを活かし、更なる議会だよりの向上にむけ努力したいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。